

経営発達支援事業評価シート【令和7年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

1. 経営発達支援事業の内容

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	委員の評価・意見	
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	見直し等の意見
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】												
地域経済分析システム「RESAS」による情報の収集・活用	無	1回	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容（補助金活用含む） 内閣官房や経済産業省が提供しているシステムから地域経済の活性化を情報面より支援できるよう当商工会ホームページに公表。 もたらされた効果や課題 当商工会ホームページに提示を行うことで小規模事業者が事業計画の策定するために有効活用できる資料として提供することができた。 今後の対応等（補助金活用含む） 小規模事業者に事業計画策定支援の資料として継続的に地域情報を提供する。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
各種機関が実施する中小企業景況動向調査の活用	無	2回	4回	4回	4回	4回	4回	A	実施内容（補助金活用含む） 帯広信用金庫「十勝地域内企業景況動向調査」、北海道「企業経営者意識調査」、北海道商工会連合会「中小企業景況調査」を当商工会ホームページに4回公表。 もたらされた効果や課題 中小企業景況調査等を公表することにより、小規模事業者に自社の経営状況や道内・管内の景況感を把握することができ、課題を検討する資料として提供することができた。 今後の対応等（補助金活用含む） 小規模事業者に経営支援や経営力向上の基礎資料として継続して地域情報を提供する。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
2. 需要動向調査に関すること【指針③】												
展示商談会・即売会の出展による需要動向調査	無	2件	3件	2件	5件	3件	7件	A	実施内容（補助金活用含む） 商品に対する需要の有無、適正価格、購入意向、用途ニーズを把握し、今後の商品改良および販路開拓に繋げるため事業者へフィードバックした。 もたらされた効果や課題 商談会への出展を通じて新規取引先との接点創出が図られ市場ニーズを踏まえた商品ブラッシュアップの方向性が整理できた。 今後の対応等（補助金活用含む） バイヤー等からの意見や要望を情報収集し、分析した結果を出展事業者や他の出展事業者へフィードバックしながら販路開拓の支援を継続する。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
3. 経営状況の分析に関すること【指針①】												
経営分析の実施	無	49件	40件	39件	38件	40件	40件	A	実施内容（補助金活用含む） 巡回や窓口での相談を通して現状を把握するためヒアリングや簡易分析し、当商工会の記帳機械化を利用している事業者には経営計数分析表や簡易財務診断表を活用して分析した。 もたらされた効果や課題 分析結果をもとに、主力商品・サービスの現状や課題を整理し、利益確保に向けた改善の方向性について助言を行い、今後の販路開拓や商品ブラッシュアップの可能性について情報提供を行った。 今後の対応等（補助金活用含む） 今回の経営分析で把握した課題を踏まえ、引き続き事業者と連携しながら収益改善に向けた取組を支援する。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
4. 事業計画策定支援に関すること【指針②】												
事業計画策定セミナー開催による事業計画策定支援	無	6件	20件	9件	14件	20件	13件	C	実施内容（補助金活用含む） 経営状況や課題を整理し、事業計画策定支援にあわせて販路開拓に向けた助言や補助金制度の活用、各関係機関と連携して支援した。 もたらされた効果や課題 事業者の経営課題が整理され、事業計画に基づく具体的な取組が促進された。計画実行が停滞する事業者には、フォローアップ支援の充実や情報提供方法の工夫が必要である。 今後の対応等（補助金活用含む） 定期的な進捗確認や数値管理に関する助言を強化するとともに補助金等の支援施策や関係機関との連携を通じて、成果につながる実践的な支援に取り組む。	無	C	長期化・常態化する物価上昇と人手不足は中小企業・小規模事業者の経営を圧迫している。この状況は今後も予断を許さないことから、地域の事業者へのきめ細やかなモニタリングが必要である。
事業承継・創業に係る事業計画策定支援	無	1件	3件	2件	3件	3件	3件	A	実施内容（補助金活用含む） 町内で創業を目指す予定者1件及び事業承継される事業者2件に対して、事業計画策定の意義や重要性を説明実施した。 もたらされた効果や課題 創業者の創業計画書の支援や事業承継の事業者には引継ぎ支援センターと連携し事業承継計画の策定支援に繋がった。 今後の対応等（補助金活用含む） 当商工会ホームページや会報にて事業承継や創業に向けた情報を発信し、各支援機関と連携して今後も事業承継や創業に係る支援を継続に実施し、事業計画策定に繋げる。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。

経営発達支援事業評価シート【令和7年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

1. 経営発達支援事業の内容

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度補助金活用有無	委員の評価・意見	
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	見直し等の意見
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】												
フォローアップ事業者数	無	35件	20件	9件	14件	20件	13件	C	実施内容（補助金活用含む） 今まで事業計画策定した事業者には職員が巡回や窓口相談で事業計画と実績の差異を確認し、改善策などを定期的にフォローアップを実施した。 もたらされた効果や課題 定期的なフォローアップを実施したことにより事業計画に沿った状況が確認することができ、事業計画を見直ししながら販路開拓に繋がった。 今後の対応等（補助金活用含む） 職員が巡回や窓口相談にて定期的にフォローアップしたうえで課題解決に向け専門家と連携強化し、小規模事業者の販路開拓や目標事業者数に繋げる。	無	C	前々項目と連動した事業計画策定支援とその後のフォローアップのPDCAのサイクルによる経営支援が重要であると考えられる。
承継・創業のフォローアップ事業者数	無	1件	3件	5件	3件	3件	3件	A	実施内容（補助金活用含む） 金融機関や各支援機関と連携を図りながら、創業者1件と事業承継2件のフォローアップを実施した。 もたらされた効果や課題 金融機関や各支援機関より創業者及び事業承継の事業者により専門性を活かした事業計画策定のフォローアップを実施した。 今後の対応等（補助金活用含む） 継続しながら金融機関や各支援機関との連携を図り、必要に応じて専門家を活用しながらフォローアップを積極的に取り組む。	無	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
フォローアップ頻度（延べ回数）	無	82回	92回	36回	60回	92回	64回	C	実施内容（補助金活用含む） 今まで事業計画を策定した事業者には職員が、巡回や窓口相談の際に1事業者あたり年4回フォローアップの支援を実施した。 もたらされた効果や課題 年4回フォローアップを実施することにより定期的に成果や進捗を振り返ることができ、課題解決のスピードが上がり迅速に対応することができた。 今後の対応等（補助金活用含む） フォローアップの結果内容を振り返り、事業の進捗状況やリスクに応じて柔軟に調整しながら支援を継続する。	無	C	事業計画の有効活用には計画実施後のチェックによる課題抽出とその解決策の検討及び実施が肝要。そのサポートを確実に実施したい。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】												
展示商談会及び即売会への出展支援（B to B）	有	2件	6件	2件	5件	6件	7件	A	実施内容（補助金活用含む） 道外へ販路拡大に取り組む事業者に対して北海道産品取引商談会福岡会場3件、東京大阪会場4件に専門家を活用しながら販路開拓に繋がるよう出展の支援した。 もたらされた効果や課題 11月の商談会福岡会場では3事業者出展して3件商談成立の5件商談交渉中である。2月の東京大阪会場は4事業者出展して3件商談成立の35件商談交渉中で新たな販路開拓に繋がった。 今後の対応等（補助金活用含む） 需要を見据えた事業計画策定の事業者より新たな出展事業者を掘り起こしながらBtoBの販路拡大に繋がるよう各支援機関と連携しながら、継続して販路獲得するための支援を実施する。	有出展	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
共同チラシを活用した商品・サービスのPR支援（B to C）	無	23件	20件	7件	4件	20件	6件	C	実施内容（補助金活用含む） 商工会イベント事業のチラシを活用して、事業者の強みを生かした商品やサービスを地域に宣伝し販路拡大に繋がるよう支援した。 もたらされた効果や課題 複数事業者の情報がまとめて手に入ることで、消費者の関心が高まり地域全体の消費喚起や需要創出に寄与され、一時的に売上や集客の増加に繋がった。 今後の対応等（補助金活用含む） 特産品等地域資源を利用した商品やサービスを効果的に見せる販売促進手法の支援し、情報発信することにより販路拡大に繋げるよう継続する。	-	C	地域ブランドの確立には成功事例の創出とその周知効果による後続参加者の発掘が有効であると考えられる。一層の周知活動により多くの事業者の参加・活用を促したい。
ホームページ等WEBを活用した商品・サービスのPR支援（B to C）	無	2件	2件	2件	5件	2件	3件	A	実施内容（補助金活用含む） 販路開拓に繋がるよう専門家を派遣してSNS（インスタ）の活用方法や青年部のインスタを活用して事業者をPRするため投稿し、情報発信・販促手法の助言を支援した。 もたらされた効果や課題 SNSの発信より事業者の認知度が向上され、専門家のアドバイスよりSNSの効果的な情報発信を継続して投稿することにより新規顧客の獲得に繋がった。 今後の対応等（補助金活用含む） 事業者の負担に配慮しながらインスタを活用した情報発信が継続できるよう助言を行い、状況なども確認して支援効果の把握に努め、認知向上と新規顧客獲得に繋がる支援を継続する。	-	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。